

Drumbeat. 2

音楽関連 新情報

Drumbeat sense 005 (2025年11月2日)

「やなせたかしの優しい食卓」RoseLove (柳志乃) 著 晶文社 (敬称略)
5才からダンスや音楽の才能を発揮し、日々磨きをかける RoseLove (柳志乃) の
興味深いレシピ付きエッセイ。(定価 1800 円+税)

作曲家いずみたく、アンパンマンの父やなせたかしとの暖かい交流記録が綴られている。アンパンマンはそもそもがミュージカルだったとわかり驚く。最終章では 50 以上のレシピが登場。勿論、本文途中のレシピもまた面白く美味しそう。

いずみたく「大体ボクは童謡が嫌いである。大人が、子供のことを考えて作るのは大人の高慢さに過ぎない。(第 1 章より)」というお話や、やなせたかし「キャラクターを創作するのは、自分の血肉を分けた子供をつくるのと同じなので、親馬鹿としてはどうしてもいろいろ世話を焼きたくなるのです。(第 3 章より)」は、クリエイターの本音であり痛感、納得。

そして著者「実のところ編曲って、むずかしい。(途中割愛) やなせ先生に喜んでいただきたいという、気合いと心意気ですすめていたところもあったのです。(第 3 章より)」に到り、ただただ喜んでもらいたいからという、一生懸命さ純粹さが伺えて、クリエイティブを生業とする者の本音と受け取る。

しかし、やなせたかしは第二次世界大戦で特攻隊へ志願した弟を亡くす。その喪失感は一生涯消えなかったという。

「おとうものごたり (珊瑚より)」

なぜぼくだけが生きのこり

なぜぼくだけがここにいる

という詩をやなせたかしは残している。

そのやなせたかしは「手のひらを太陽に」

の作詞者 (作曲いずみたく) である。

この楽曲を知らない者はいない。

アンパンマンは平和を願う

やなせたかしの思いそのものだという。



第 6 章のレシピは、RoseLove のお母さんがやなせたかしの (事務所の人達も一緒に召し上がる) ために工夫を重ねたもの。

RoseLove 「やなせたかしの優しい食卓」は、品の良い味付けと盛り付け、丁度良いお皿のエンターテインメントである。